

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 19 日

基本目標No.	2	共通目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	15	施策名	良好な都市の形成
主管課名	都市計画課	主管課長名	森田 敏之
関係課名	農林水産課、商工観光課、建設課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な土地利用により、都市と自然が調和されたまちになっています。</li> <li>道路や公園などが安全で快適な施設になっています。</li> <li>街並みや景観などを美しいと感じるまちになっています。</li> </ul>
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な公園や自宅周辺の緑化に努めます。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民発意のまちづくりが進むよう情報提供に努めます。</li> <li>安全で快適なまちづくりの整備促進に努めます。</li> <li>地域特性を活かしたまちづくりを住民と連携・協働しながら推進していきます。</li> </ul>
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のみなどと相談しながら、美しい街並みの保存に協力します。</li> </ul>

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策にかかるコスト等	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	19 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	7 (6)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	5 (5)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	6 (5)			
	うち基本事業(その他)を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	1 (1)			
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	463,424	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	4,426			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	438,994			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	19,110			
	うち基本事業(その他)を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	894			
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	49			
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	28,140			
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	123,788			
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	587,212	0	0	0
	市民1人あたりにおける施策の							
G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	10,457				
同上								
H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	2,793				
同上								
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	13,251				
参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315			

施策No.	15	施策名	良好な都市の形成								
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取り組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)								
	計画的な都市環境づくりの推進		都市計画マスタープランに示した基本方針に基づき、適正な土地利用や地域特性が生かされた都市環境づくりを推進します。								
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	都市計画マスタープランの推進		平成18年度に作成した都市計画マスタープランに基づいて、ゾーン区分の都市づくりを推進します。								
	都市計画区域の見直し事業		必要な時点で都市計画区域の見直しを行ない、都市づくりの根幹的要素を整理します。								
	地籍調査事業		土地の一筆毎の調査及び立会いを行ない、正確な地積測量図や登記簿を作成します。								
	農業振興地域整備計画事業		農業の近代化に向け、必要な地域を保全し、農業振興に関する施策を計画的に推進します。								
	基本事業①の目的【意図】		土地利用に関して、将来的な構想が明確であり、使い易いものになっています。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	適正な土地利用が行なわれていると感じている市民の割合		%	28.4	22年度 24.4	23年度 25.5	24年度 26.6	25年度 27.7	26年度 28.8	30.0	35.0
	基本事業名②		事業内容(活動内容)								
	市街地整備の推進		密集市街地を土地区画整理事業で安全な市街地に整備し、商店街や賑わいづくりに取り組みながら、魚津駅や電鉄魚津駅を含めた周辺整備を行ないます。								
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	経田地区土地区画整理事業		旧市街地の経田地区で土地区画整理事業を行ない、安全な快適なまちに作り変えます。								
	市街地活性化事業		従来からの商業振興策に加え、商店街の地域と協働して全体のランドデザインの検討を行います。								
	鉄道駅及び周辺整備計画策定事業		魚津市中心市街地活性化に向けて、市内鉄道駅の乗り換えの利便性や魚津駅及び電鉄魚津駅の形態変化に備えた周辺整備の計画を策定すると共に事業化に取り組みます。								
	基本事業②の目的【意図】		便利で安全な地域が創出されています。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	土地区画整理事業面積		ha	163.5	22年度 165.1	23年度 165.5	24年度 165.9	25年度 166.3	26年度 166.7	167.0	168.5
	基本事業名③		事業内容(活動内容)								
	美しい都市環境づくりの推進		市の玄関口である魚津駅前広場を整備することや建築基準並びに屋外広告物の適切な指導を行ないながら、きれいな街並みや美しい市街地を保持するための対策を進めます。								
	③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	屋外広告物許可及び啓発事業		屋外広告物の設置に対して、良好な景観等に配慮した適正な指導や設置基準に基づいた許可を発行します。								
	駅前広場等整備事業		市の玄関口である魚津駅前広場が、市民はもとより来訪者からも好まれるように適切な整備を行ないます。								
	公園里親制度事業		誰もが親しむ都市公園や開発広場を市民からボランティアを募り、草むしりや清掃等できれいに管理します。								
	基本事業③の目的【意図】		誰もが美しい・きれいでであると認識ができて、親しまれる環境が整っています。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	屋外広告物違反件数		件	47	22年度 44	23年度 41	24年度 38	25年度 35	26年度 32	30	20
里親登録公園数		箇所	11	22年度 13	23年度 15	24年度 18	25年度 21	26年度 23	25	30	
基本事業名④		事業内容(活動内容)									
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業④の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			

施策No.	15	施策名	良好な都市の形成
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	<p>①適正な土地利用が行なわれていると感じている市民の割合が前年度25.2%から24.1%へと減少し、前々年度と同じになっています。</p> <p>②抜本的な都市基盤の再生を図るため、経田土地区画整理事業や電鉄魚津駅前広場を交通結節点とする事業を実施しています。</p> <p>③美しい都市環境づくりの推進については、屋外広告物違反数の減少速度や公園里親制度の登録者数の増加速度が遅いことから、美化への対応が遅れている状況です。</p>		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
	<p>①住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定める用途地域面積は、当市は430.5haであり、隣接の滑川市は670.82ha、黒部市は625.0haであり、隣接両市は当市よりも1.5倍ほど広い面積です。</p> <p>②当市の土地区画整理事業面積は165.9haで平成27年度までに167haを完成する予定であり、隣接の滑川市は159.2haで現在は実施していません。また、黒部市は69.1haで現在も施工中です。</p>		
ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)			
旧市街地に空き家が増えていることや適正な土地利用状況の市民意識調査が前年度より悪くなっていることから、防火建築帯の処遇や旧市街地の衰退防止対策が求められています。			
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)			
<p>①平成18年度に魚津市都市マスタープランを作成し、都市の将来像や土地利用の基本的な方針及び都市施設の整備方針を定めました。</p> <p>②魚津市中心市街地活性化基本計画に基づき、まちづくり総合整備事業や公園整備事業など中心市街地の都市施設の機能更新や活性化に関する各種事業を実施しました。また、電鉄魚津駅を再整備し交通結節点とする事業を実施中です。</p> <p>③住宅密集地の居住環境改善へ向け、平成17年度から経田地区の区画整理事業に着手し、家屋移転工事や下水道並びに道路の整備工事を順次進めています。</p> <p>④平成18年に魚津駅東地区地区計画を設定したことに伴い、地区整備計画区域内では屋外広告物など行為の届出を義務化し、華やかな看板等を規制しています。</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>①中心市街地の活性化に向けて旧市街地区域内を整備したが、中央通り・真成寺町の防火建築帯(個人資産)が著しく老朽化しており、地区住民と連携・協働を図りながら計画的な対策を検討します。</p> <p>②経田中央地区3.5haの土地区画整理事業が、平成24年度までで約2.4haの宅地整備が完了し、残りの約1.0haを継続して取り組み平成27年度で完了する予定です。</p> <p>③北陸新幹線の開業も近づく電鉄魚津駅を交通結節点とする整備は目途が立ったことから、今後は魚津駅の周辺整備も検討する必要があります。</p> <p>④平成22年7月に富山県屋外広告物条例も改正されており、今後、更に良好な景観づくりの促進を図るための周知活動や指導等を強化します。</p> <p>⑤総合公園や早月川緑地施設の著しい劣化が見られるので、状況を見定めながら改修することが必要です。</p>			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	魚津市都市マスタープランの方針を踏まえながら、都市計画区域や用途地域の変更が生じる場合には適切に対応します。平成25年度で実施している施策を継続して取り組みます。	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	<p>◆魚津市都市マスタープランの方針を踏まえながら、都市計画区域や用途地域を見直して適切な土地利用や地域特性が活かされたまちづくりに取り組みます。</p> <p>◆安全・安心なまちづくりに向けた土地区画整理事業を継続します。</p> <p>◆交通結節点の核となる駅の環境整備に取り組み、公共交通の利便性を高めます。</p>	